

第1回 神岡地域協議会 会議録

日 時 平成27年5月14日(木)
午後3時～5時
場 所 神岡庁舎3階 大会議室

出席委員(10名) 石山美恵子、齊藤恵子、齊藤 勲、齊藤博伸、齊藤由紀、
佐々木徹、鈴木和栄、鈴木幸一、鈴木美保、中村淑子

欠席委員(6名) 伊藤公仁、工藤昌子、黒川 茂、今野公行、齊藤 亘、
佐々木康浩

1. 開 会 市民サービス課 課長 石山尚英

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。

定刻の若干前でございますけれども出席を予定されている方全員お集まりですので、ただ今から平成27年度第1回神岡地域協議会を始めさせていただきます。

最初に鈴木会長がごあいさつ申し上げます。

2. 会長あいさつ 会長 鈴木 和栄

平成27年度、最初の地域協議会ということで今日はお忙しい中ありがとうございます。

今のシーズンですが欠席されたメンバーを見るとやはり平日ということもあり、また農家の方もいらっしゃいます。そういうことでこのメンバーで今日第1回目の地域協議会を開催いたしますが、去年米価がかなり落ちたことで農家を辞める人がかなり増えております。私自身も農家をやっておりますけれども変わったということは、やはり田んぼに行っても本当に人が少なくなったなということを感じます。

だれかが言っておりましたけれども、27年度は家族農業の崩壊の年と提言されている方がおります。地域社会は家族農業で支えられておりますので、これから先本当にどうなるのか。ここは土地改良が比較的進んでおりますので、引き受け手がありますけれども山の方に行きますと引き受け手がないということで大変苦勞しているようです。これから先、はたしてどういう様な地域社会が出来上がっていくのか。ということで、今回から地域協議会の担当部署も地域活性化推進室に引き継がれたようでございます。本当にどうすれば地域が活性化できるかということを職員と共に私たちもいろいろ考えて進めて参りたいと思います。

今日は副市長を迎えて、予定では5時までということになっております。せつかくですので、ひとつ皆さんから絶大なるご意見とご要望を是非お願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

3. 副市長あいさつ 大仙市副市長 老松博行

副市長の老松です。本日は、ご多忙にもかかわらず「平成27年度第1回神岡地域協議会」にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

皆様には、市民と行政との協働によるまちづくりの推進の核として、地域課題を解決する仕組みづくりや、地域予算の活用、各種計画への意見、施策・事業に係る提言の取りまとめなど、地域の特色を活かした活発な活動を展開していただき、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

大仙市はこの春、記念すべき誕生10周年を迎えました。3月22日には、多くの市民の皆様からのご参加のもと「大仙市誕生10周年記念式典」を挙行し、これまでの歩みを振り返り、決意を新たに次の10年のスタートを切ることができました。皆様には式典開催にあたり様々な面でお力添えいただいたところであり、心から感謝を申し上げます。

大仙市は誕生以来、「市民との協働」を旗印に、新市としての一体感の醸成に努めるとともに、市民の意見を行政に反映させ、きめ細かな自治が引き続き行えるよう、旧市町村ごとに地域自治区と地域協議会を設置し、地方分権時代にふさわしい市民と一体となったまちづくりを進めてまいりました。

また、市政運営の基本方針である「大仙市総合計画」のもと、医療・福祉、子育て・教育、産業、防災など本市が抱える様々な課題に取り組んでまいりました。

多くの取り組みの中で、とりわけ大きな事業となりましたのは、圏域住民14万人にとって念願でありました地域の中核病院・仙北組合総合病院の改築であります。市街地再開発事業により大曲厚生医療センターとして新たに開院できましたことは、圏域住民の命と健康を守り、健やかなる暮らしの実現につながる大きな成果であったと思っております。

市街地再開発事業につきましては、現在、旧仙北組合総合病院があった南街区の整備に移っております。南街区には、健康増進センターや社会福祉協議会本部が入る「健康福祉棟」、認定子ども園となる「児童福祉棟」、大曲商工会議所などが入る「事務所棟」、地上四階建ての「駐車場棟」が整備され、本年9月末には全ての施設が完成いたします。

このうち「健康福祉棟」には、今年8月に開局するコミュニティFM「FMはなび」のスタジオも入居することになっております。各地域のイベントをはじめとした地域に密着した情報を発信するほか、災害時には市民への緊急情報伝達手段としての役割も担うこととなっております。地域活性化、防災対策の観点から大いに期待しているところであります。

また、こうした取り組みのもとになる「大仙市総合計画」につきましては、平成27年度が計画終期となっていることから、平成28年

度から37年度までを計画期間とする次期総合計画の策定に向け、現在作業を進めているところであります。これまでの取り組みをしっかりと検証しながら、より市民目線に立った実効性ある「新たな羅針盤」にしたいと考えております。

また、これにあわせ、総合計画の地域版となる「地域振興計画」も策定することとしております。

現在、地域協議会の皆様からのご協力をいただきながら策定作業を進めておりますが、10年先を見据えた「地域の目指すべき姿」とそれを実現するための具体的な取り組みについて、皆様と一緒に考えてまいりたいと思っております。

さらに、これらの計画に基づき、地域活性化策を推進するため、今年度から、企画部総合政策課にあった地域政策班を「まちづくり課」として独立させるとともに、各支所に「地域活性化推進室」を設置しております。地域の特性や独自性、特色ある地域資源を活かし、創意工夫に富んだ様々な取り組みを展開してまいりたいと思っております。

また、「地域枠予算」につきましては、平成18年度の制度創設以来、各地域において工夫を凝らした特色ある事業に活用されているところでありますが、創設から10年目の節目を迎えることから、制度の検証、評価を行った上で、各地域協議会からのご意見をいただきながら、ガイドラインの見直しを図ってまいりたいと考えております。

また、ここ神岡地域の主な取り組みについてお話いたしますと、懸案となっております放課後児童クラブにつきましては、今年度中に旧神岡幼稚園跡地へ移転新築し、来年4月1日から開設する予定でございます。庁舎に隣接する福祉センターは耐震診断を実施し、その結果によっては来年度実施設計、その後補強工事という流れで進めたいと思っております。

農林部門は、平成19年度から継続している神岡西部圃場整備事業が平成28年度で終了予定で、今年度は補完工事を行います。また公共下水道事業は、大浦地区900メートルの管路工事を施工し、今年度で大浦地区を終了し、併せて宮田地区の工事にも着手いたします。

以上、今年度の取り組みなどについてお話をさせていただきました。

大仙市では、今後とも、こうした取り組みをはじめ、本市の発展・飛躍につながるような施策を展開するとともに、「市民と行政との協働」のもと、市民が誇りと責任を持って活躍できるまちづくりを引き続き進めてまいりますので、委員の皆様には、これまで以上のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本日の協議会が実りあるものとなり、地域発展に資する契機となりますことをご期待申し上げますとともに、皆様の益々のご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げます。挨拶といたします。

本日はどうぞよろしくお願いたします。

4. 職員紹介 神岡支所 支所長 伊藤利之
本庁職員、支所職員を紹介

事務局 この後、会議の議長は、大仙市地域自治区の設置等に関する条例8条第4項の規定により、鈴木会長にお願いいたします。

鈴木 会長 それでは、会議を始めます。
本日、伊藤委員、工藤委員、黒川委員、今野委員、齊藤亘委員、佐々木康浩委員から欠席の届けが出されております。
大仙市地域自治区の設置等に関する条例8条第2項の規定により、委員の2分の1以上が出席しておりますので、今回の協議会は成立することを報告させていただきます。
次に会議録署名委員の指名を行います。
会議録署名委員は、神岡地域協議会運営規程第7条第2項により、6番の齊藤恵子委員と7番の齊藤劭委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。
それでは次第6の議題に入ります。
地域枠予算活用事業について事務局から説明をお願いします。

5. 事務局より地域枠予算活用事業の概要について説明

【以下の事柄について説明 富樫主席主査】

- 地域枠予算活用事業申請 3件 (資料 No.1)
 - ・ さくらの会 (資料 No.1-1)
 - ・ 神岡地域花壇連絡協議会 (資料 No.1-2)
 - ・ 神岡地区自治会連合会 (資料 No.1-3)

富樫主席主査 神岡地区自治会連合会につきまして、前回の平成26年度第6回地域協議会におきまして、齊藤劭委員の方からご質問をいただきました。市内各地域の自治連合会組織への地域枠予算からの支出について本庁まちづくり課へ確認いたしましたので、ご報告申し上げます。まず、大曲地域をはじめどの地域にも連合会組織はあるとのことでございます。さらに支出については、連合会が主体で実施する事業で、本来の流れに基づく申請・承認がない限りは、特に支払いの実績はないとのことでありましたのでご報告いたします。3件いづれも、毎年度申請いただいている事業でございますが、詳細につきましては資料No.1-1から1-3まで、各団体の申請書の写しをご確認いただきたいと思いますと存じます。

【以下の事柄について説明 富樫主席主査】

- 実施類型I型事業調書 1件 (資料 No.2)
 - ・ 地域環境整備支援事業 (資料 No.2-1、No.2-2)

鈴木 会長 ただ今、事務局から今回各団体から申請された3件と、I型事業1件について説明していただきました。それでは、始めに「さくらの会」

からの申請事業について、ご質問等をお受けいたします。

それでは、私から。通信費 7,800 円とありますが、これはどういう内容ですか。

富樫主席主査 これは通信費ということで切手・ハガキ等の支出になります。こちらの事業は通年で中川原公園を中心とした美化活動を行っていただいておりますが、その際の周知に係る通信費として承知しております。

鈴木 会長 メンバーは何人いらっしゃいますか。

伊藤 支所長 実は昨日、さくらの会と支所職員の合同で中川原のクリーンアップを行いました。さくらの会の名簿を拝見したところ今、実際には 53 名の方がいらっしゃるということでした。

鈴木 会長 この件に関して他にありませんか。

佐々木徹委員 資料を見ますと収入の部で会費が 53 人になっていますが支出の部のボランティア保険料は 55 人分になっております。なぜ差があるのでしょうか。

伊藤 支所長 一人当たり 100 円の会費だと伺っておりますが、実際は 55 人のうち最初の名前だけ登録して、来ていない方が 2 名ほどおられるようで、実質的に会費を収めている会員は 53 名ということです。

鈴木 会長 その他にありませんか。なければ承認してよろしいでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

鈴木 会長 次に神岡地域花壇連絡協議会に入ります。ちなみに昨年の実績額についてデータはございますか。

富樫主席主査 昨年度の補助申請額は今年度と同額でございます。実績につきましては、お時間を頂きまして後ほど回答いたします。

鈴木 会長 消費税も上がったことですね。

富樫主席主査 申し訳ございませんでした。実績としましては 385,400 円となっております。

鈴木 会長 昨年度の実績に基づいた今年度の申請額ですね。この件に関して皆さんからご質問を受けます。

地域住民の参加ということも記載されていますが、以前は老人クラブとか北檜岡町内会が協力した経緯があります。最近は有志の活動ですか。

伊藤 支所長 最初は、鈴木会長が言われたとおり北神小学校の生徒と北檜岡地区の住民の皆様、神宮寺小学校の方も近隣の町内会や老人クラブの皆様と一緒に実施していたようですが、今は小学生や中学生が主になっておりますが数名の近隣住民もお手伝いしているようです。人数までは把握しておりません。

鈴木 会長 はい。わかりました。これに関して皆さんから質問はありませんか。一時期、北神小学校が閉校になった後、あの花壇をどうするかということになりましたが、音楽交流館というかたちで残って進藤さんを中心に事業を実施していただいて本当にご難儀をお掛けしている訳です。質問がなければ承認してよろしいでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

鈴木 会長 次に自治会連合会組織強化事業について質問ありませんか。自治会連合会の会長もいらっしゃいますので、補足説明がありましたらお願いします。

齊藤 功委員 自治会連合会に対しましてご理解いただきまして誠にありがとうございます。毎年、同額の30万円を特に反対もなく承認いただきましてありがたく思っております。

事業内容には記載されておりましたが、これまでリサイクル事業に対しまして各代表者を一同に介して話し合ったことはございませんでした。そこで明日の4時から隣の福祉センターでリサイクル事業者の代表者にお集まりいただき、今後の運営のありかた等を話し合いたいと思っております。今現在は自治連が事務局となって、リサイクル事業者に対しては地域枠予算からの補助金を分配しているようなかたちになってございますが、明日の会議次第ではリサイクル事業者だけの独立した団体を作っていただいて事務局も予定では本郷町内会の佐々木和雄さんに事務局をやっていただいてリサイクル事業を独立したものにしていきたいと思っておりますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

鈴木 会長 ありがとうございます。皆さん質問はありませんか。なければ承認ということでもよろしいでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

鈴木 会長 ありがとうございます。それでは、さくらの会が行う剪定作業の支援ということでございます。総事業費44,232円。これは既に実施した事業ですね。これに関して何かございますか。なければ、既に執行済みのことではありますが承認ということでもよろしいでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

鈴木 会長 ありがとうございます。以上をもちまして地域予算事業に関する議題を終了いたします。続きまして、次第の7. その他に移ります。はじめに、(1) コミュニティFMの概要について、事務局より説明をお願いします。

6. その他

【以下の事柄について説明】

(1) コミュニティFMの概要について

【総合政策課 富樫参事】(資料 No.3-1、3-2、3-3)

鈴木 会長 ありがとうございました。FMはなびについて何か質問はありますか。

齊藤博伸委員 FMはなびの受信状況について、図面を見ると南外地域で電波が入らない状況について何か対策を検討されているのか。それとFMラジオが3案ありますが、コスト的にはどのような順番になっていますか。

富樫 参事 齊藤委員のご質問にお答えいたします。小さな図面でよくご覧ください。大仙市の中で聞こえにくい箇所が4箇所あります。①協和スキー場付近②協和支所付近③南外地域内の高速道路の西側と南外支所付近④大曲インターチェンジ付近(中山)。この4箇所が聞こえにくいというデータがでております。今年度に関して言いますと、南外と協和スキー場の2箇所に中継局を設けます。同じ電波がそこから出て行くということで姫神山からの電波が届かない所は中継局からの電波で補うというような計画でおります。残りの2箇所(中山と協和支所付近)は先に述べた中継局の状況を見てから同じように中継局を立てたいと思っております。そういったことで大仙市全て100%聞こえるという状況は残念ながらお約束できませんが、できるだけ可聴エリアを広げたいと思っておりますし、スマートフォンで聞こえるという方法も今年度にアプリを開発したいと思っておりますので、若い人でスマートフォンをお持ちの方はラジオがなくとも携帯電話(スマートフォン)でラジオが聞こえるというかたちで考えております。2点目のコストについてですが、デザインが3案ありますが全てだいたい同じくらいのコストです。ただ、C案の場合は液晶パネル部分が大きいほどコストは高くなるということでした。A案とB案ですとA案が一番液晶部分が小さいのでコスト的には少ないです。B案については、花火をイメージした独創的なデザインなんですけど、球形ですので中に部品を組み込んだ場合、無駄なスペースがいっぱいできて持ち運びも不便ではないかというデメリットもあります。市民の方々からは、そういった意見もいただいておりますので、そういったことを加味しながらABC、3つのうちのどれかに最終的な決定は行政側でさせていただきますけれども参考にさせていただきたいと思っております。

鈴木 会長 このラジオは一般に販売するんですか。

富樫 参事 はい。販売いたします。ただ、少し高額でして我々が電気店で見るとようなラジオよりは、防災機能の部分もありますしFMはなびオリジナルということもありますので多少コストが高くなってしまいますので、その分について市でいくらかでも助成ができればと考えております。できれば、各家庭に一台安全安心のために備え付けていただきたい。それを使ってFMはなびを聞いていただきたい。そういう2つの狙いがございます。

鈴木 会長 秋田県の地域FM2局が入ると伺っていますが、たぶんFM椿台と横手かまくらFMですか。

富樫 参事 はい。いわゆるコミュニティFMとして秋田市雄和にありますFM椿台と横手市のかまくらFMは残念ながら入りません。わざと入らないようにしております。というのは、FMはなびだけを聞ければいいんじゃないか。という案がありました。ただ、FMはなびのアンテナが大きな地震や土砂崩れでダウンしてしまっただけの場合、防災の情報をどこから仕入れるかといったときに権益放送といいますがNHKやFM秋田から情報を得ます。できれば浮気はして欲しくはない訳です。FMはなびだけ聞いて欲しいのですが、もしかということでも他の2局を付け加えました。

鈴木 会長 場所によっては椿台のFMが大変良く聞こえるところもありますね。

富樫 参事 はい。大曲でも入りますし、協和とか西仙北でも入ります。番組も演歌調のものをやっておりますので、農作業しながら「俺FM椿台ファンだ」という方がおられますが、是非FMはなびにシフトしていただければと思います。

鈴木 会長 皆さん。あと他に質問はありませんか。なければFMはなびについてすばらしい放送局になるように願って質問を終わります。つづきまして、(2)平成27年度神岡支所主要事業の概要について事務局から説明をお願いします。

【以下の事柄について説明】

(2)平成27年度神岡支所主要事業の概要について

- ・地域活性化推進室 伊藤支所長 (資料 No.5-1、5-2)
- ・市民サービス課 石山課長 (資料 No.4、6-1、6-2)
- ・農林建設課 藤井課長 (資料 No.7、添付資料 1～3)
- ・神岡中央公民館 石山館長 (資料 No.8)

鈴木 会長 どうもありがとうございました。支所長・市民サービス課長・農林建設課長・中央公民館長から地域の平成27年度の主要事業について説明をいただきました。皆さんからご質問やご意見をいただきたいと思いますが、多岐に渡っておりますのでちょっと頭を整理していただきたいと思います。どんなことでも結構です。

齊藤 勲委員 質問というよりも要望になってしまいますが児童クラブの新築移転する建物について、音楽交流館（旧北神小学校）や神岡小学校共に雨漏りが激しいので、是非この建物は雨漏りしないような建物にしたいと思っています。

鈴木 会長 それに関して何かコメントはありますか。

老松 副市長 私からも少しお話をさせていただきたいと思いますが、放課後児童クラブは子供たちが移動で難儀しないように学校の余裕教室で行っておりますが、それができない場合、学校の敷地内に建設して実施しております。それも確保できない場合は、近くの公共施設で実施しております。そういった考え方の順序があった訳ですが、そうした中で今度は6年生までということで、今回の神岡地域に建設する放課後児童クラブは今までよりもかなり大きく、生活の場だけでなく体を動かすスペースも予定しております、だいぶ大きな建物になる予定です。

齊藤委員からのご指摘のとおり雨漏りは絶対にならないように対応いたしますが、ある意味では放課後児童クラブの建物のモデルケースになります。この規模のものはこの後も建設できるかわかりませんが、実際に新たに建てる場合のモデルになります。実は国からの補助金等はあまり意識しないで、市の独自の考え方で作ろうとしております。大事なモデル事業ということでご指摘があったようなことはないように「ああ、いいものを作ってもらったな」と言っていたようにしたいと思っています。大仙市初の試みになりますのでご理解をいただきたいと思っています。ありがとうございます。

鈴木 会長 その他に質問はございませんか。

佐々木徹委員 市民サービス課からの説明の中で、自治会育成支援補助金というものがありますが、例えば今日の地域枠予算申請の中で自治会連合会へ30万円を補助しております。最初から30万円を自治会支援補助金に含んでいただいてもいいのではないのでしょうか。似たような仕事の中身かと思えます。なにかの事業を行うにあたって予算が足りないから地域枠予算から補てんするのではなくて、当初の予算編成を変えられた方がいいと思うのですが。

伊藤 支所長 佐々木委員が言われた市民サービス課からの資料に記載されている自治会育成支援補助金180万円の予算というのは、今現在26町内ございますが町内会の方に補助しているものが自治会育成支援補助金180万円でございます。先ほどの案件にあがってございましたものは、自治会連合会に対する補助金でございます。中身が違いますのでご理解をいただきたいと思っています。

鈴木 会長 児童クラブのことですが、現在56人ですね。この児童クラブに通うための要件というのは、家に帰っても見る人がいない場合だと思えますが周りの人の話を聞けば、家に帰っても逆に一緒に遊ぶ子供たち

がないので、児童クラブに入るといふことも可能なのでしょうか。

伊藤 支所長 平成27年度の児童クラブの申込みを今年の2月と3月に行ったところ今回67人の応募がありました。定員が45人ですのでぎりぎり1.5倍ということで、福祉センターのスペースで67人は無理です。審査項目がございますので、家庭状況を審査いたしまして、来年広い児童クラブができますからと理解をいただきまして8人程お断りいたしました。

鈴木 会長 家庭の状況と地域の状況があるんですね。家に帰っても周りが児童クラブに行ってしまうと、一緒に遊ぶ友達がいない状況で将来的に児童全員を受け入れるような施設を作らなければいけないのかなと感じますね。

伊藤 支所長 小学校は野球・ミニバス・サッカー等のスポーツ少年団がありますので極端に児童クラブの申込者が増えることはないと思います。今年度建設する児童クラブの定員は70人とかなり多いですが、審査は間違いなくしております。

鈴木 会長 人数に制限はあると思いますが、ある程度家庭の事情と地域の事情を踏まえていただきたいと思います。
その他に質問はありませんか。

老松 副市長 今現在、保育園の待機児童は4月1日現在ではございません。年度途中で誕生したり転入したりしますが、年度途中の待機児童もゼロになるように頑張っております。保育園の待機児童の解消と放課後児童クラブは、子育て支援の中の大事な政策だと思っております。あちこちで放課後児童クラブが増えまして、上級生や家庭状況によって遠慮していただいている場合があります。そうして、本当に困っている子供たちを中心にして対応しております。できれば、新しい制度を作ればいいのですが、なかなか簡単には作れませんので頭が痛いのですが、年度途中の待機児童の解消や放課後児童クラブの受け入れについて大仙市として力を入れております。ご理解をお願いいたします。

鈴木 会長 ありがとうございます。その他に質問はありませんか。支所管内でなくても大仙市全般のことでも結構です。

齊藤博伸委員 今年度新たに雪対策推進室が新設されたと伺いました。その内容について詳しく教えていただけませんか。

老松 副市長 昨年の9月に雪対策総合計画ということで市民の皆さんからも委員になっていただいて私が策定委員会の委員長でございました。立派な計画を立てた訳ですが雪の対策を実行していくという大事なことがある訳ですので、今まではどうしても各部署で雪対策をしておりましたが、しっかり連携が取れていたとは思っておりません。したがって本

庁には4月から雪対策推進室を作りました。現在職員は3名です。冬期間になりますと8名になる予定です。いろいろ福祉の分野、防災の分野、道路の分野の責任者が関わって冬期間は様々な雪対策を行います。支所の方にも支所版の雪対策室をイメージしておりますが、既に各課で連携ができております。支所でも防災・福祉・道路について今まで以上に連携を意識していただきたいと思います。本庁の雪対策推進室が全てを統轄して指令を出しますし、市民の要望等の窓口になります。連携を深めて市民の皆さんの苦情や要望にすぐに応えるような体制にしていきたいと思います。よろしくお願いします。

石山美恵子委員 児童クラブに関するお願いなんです、4・5年前にも要望させていただきましたが、子供たちが本を読む時間を設けておまして、船岡の閉校になった小学校から本をいただきました。その本も子供たちが熱心に読むものですから、ほとんどが劣化してしまって職員がノリやセロハンテープで補強して使用している状態です。もしよろしければ旧北神小学校にある図書で使えるようなものがありましたら児童クラブに譲っていただけないでしょうか。活用していないようであればお願いします。

石山公民館長 私、公民館長でございますが図書館長でもございますのでお話しいたします。今年、ちょうどいいタイミングで図書館の貸出利用者を増やすためには、どういう方法がいいのか図書館担当を相談しておりました。老人ホームや神岡小学校へ団体貸し出しということで必要なものがあれば、ある一定期間貸し出しております。ですので、児童クラブについてもご要望があれば本を選書いただきまして一定期間貸し出す方法もできると思います。是非とも公民館の図書館担当と連携を取りながら図書の利用を増やしていただければこちらも助かります。旧北神小学校の図書については、全て神岡小学校の方に図書を移動しております。公民館の図書を活用していただきたいと思います。

石山美恵子委員 貸し出しとなれば一定期間お借りして返却するということですね。私たちの指導の仕方かもしれませんが、子供たちが本に傷や汚れをつけてしまう恐れがあります。

石山公民館長 図書にはそういった傷や汚れのリスクはあります。貸し出した本を修理したりする処理方法がありますので、気にせずにご利用ください。

石山美恵子委員 とにかく元気な子供たちが多いので、本の取り扱いが心配です。職員も一人ひとりまで目が行き届かなくて。福祉センターを児童クラブとして使用して3年になりますが壁も相当穴があいてしまって修理や補強をしていただきました。

鈴木 会長 元気なことはいいことです。汚れた本だって喜んでますよ。他に質問はありませんか。なければ、これをもちまして今日の地域協議会を終了させていただきます。本当に長時間に渡ってありがとう

ございました。

石山 課長

これもちまして第1回神岡地域協議会を終了いたします。
大変お疲れ様でございました。

